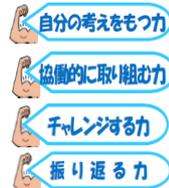


みんなで創る 庭塚小学校

～教育目標：自ら学び 心豊かに たくましく歩む子どもの育成～



No. 15

令和2年 7月10日

発行者

庭塚小学校長 渡邊かほる

ピンチがチャンスに-かわっています-

新型コロナウイルス感染拡大により、臨時休校や新しい生活を余儀なくされたところですが、その中で、庭塚小学校の子どもたちや先生方は、「ピンチをチャンスにかえよう」と、学校生活に取り組んできました。これまでも、度々、学校だよりで紹介してきましたが、今、子どもたちは、落ち着いて伸び伸びと、「自分で考える力」を発揮して生活しています。

七夕集会はできませんでしたが…6年生中心とした呼びかけで、各学級で短冊を飾り、放送で願いが発表されました。例年とは違う方法を考えました。

1年生を迎える会中止でしたが…3年生が、1年生教室に「読み聞かせ」に訪問しました。

委員会の時間はとっていませんが…4～6年生が、休み時間などに自主的に活動しています。

縦割り班が、まだ集まれません…6年生の班長が「にわかタイム」で、班のメンバーの名前と意気込みを堂々と発表しました。

遅れた分の授業時数を確保していませんが…どの学級も、どの子どもも授業に集中しているので、学習内容が進んでいます。

業間や休み時間に、校庭や体育館で思い切り汗をかくほど遊び、チャイムが鳴ると一斉に教室へ戻る姿や、授業時間は学校全体が、しーんと静まりかえることなど、メリハリのある子どもたちの姿に、私たち教職員は、感心しているほどです。行事や活動が中止や延期になっていますが、かえって精選された分、子どもたちが考えたり工夫したりして活動できる時間ができたのではないかと考えています。今までは、次々とやらなければならないことがあり、目的が「やること」になってしまっていたのかもしれませんが。学校や大人が、与えすぎて、子ども達の考える時間ややる気を起こすゆとりを奪っていたのかもしれませんが。ピンチをチャンスに、かえている子どもたちの姿から、私達は学び、今後の教育に繋げていきます。



読売新聞に7/2掲載

7月2日の読売新聞の教育の紙面に、本校の取組の様子が掲載されました。子どもたち一人一人が「学びに自信を持ち、自ら学びに向かう力」を高めるために、算数科を主に、2名体制で、子どもたちの学びを支援していることが紹介されました。6月12日に、5年生の算数の時間が取材されました。担任と教頭が、指導している写真や、代表でインタビューを受けた児童のコメントも載っています。

学校訪問6/19で称賛

6月19日に学校訪問がありました。福島市教育委員会の教育長はじめ、たくさんの方が来校し、子ども達の学びや生活の様子を見ていただきました。落ち着いて学んでいる子ども達の姿にお褒めの言葉がありました。特に、順番を待ち、距離をとって手を洗っている子ども達の姿に感心していかれました。また、6月29日の福島市の校長会でも、その様子が紹介されるほどでした。



文部科学省から布マスクご活用くださいー

文部科学省から、郵送された「布マスク」を本日子どもたちに、一人1枚配付いたしました。
「リラクセーション」ご活用くださいー

福島県教育委員会義務教育課のHPに「リラクセーションと傾聴の方法」という動画が掲載されています。不安やストレスの解消のための動画です。必要に応じてご活用ください。